

旅行まとめ

大体どのような感じの場所だったかという事をここでは軽くまとめて見ます。詳細は自分の目で確かめてみてはいかがでしょうか？

天龍寺：私が行った3月30日はまだいくつかあった桜が満開ではなかったが、それでも著名である庭園は美しかった。また、思ったより立ち入れる場所が多かったのもよい。

渡月橋：これがそうなのか、といった感じ。川の水も前日の雨で濁っていた。

妙心寺：非常に落ち着いた寺。長時間いられそうな雰囲気。

龍安寺：枯山水の有名な庭園は、やはり美しい。しばし何かを考えてしまう。

鹿苑寺：金閣寺。結構光り輝いているのだが、雨だったのが残念である。

戦後放火により全焼するまでは、落ち着いた雰囲気だったのだとか。

北野天満宮：人いっぱい。やはり神の使いとあって、参堂には臥牛の像が多数。

大徳寺：有名な「唐門」を見忘れるが、その他にも見るもの多数。特に庭園、そして熊本藩主である細川氏の歴代藩主（忠興除く）の墓が置くにあったのが戦国好きとしては非常に嬉しい。

上賀茂神社：永田君お勧めの寺であったのだが、NHKの企画か何かで色々セットが組まれ、ごちゃごちゃしていた。残念。

西本願寺：ただただ大きいのだが、多くが工事中であまりいい雰囲気ではなかった。

慈照寺：銀閣の他にも庭園などがあり落ち着いた寺ではあるが、肝心の銀閣は工事中である。が、骨組みなどが丸見えで逆に面白い。

南禅寺：JRのCMにも使われた寺。時間が無くてゆっくりは見られなかったが、雰囲気は相当良い。

知恩院：徳川家由来の寺。葵の御紋があちこちに見られる。寺に行くまでの急な階段がいい雰囲気。

円山公園：満開ではなかったが、それでも桜は美しい。

八坂神社：人は多くいるが、それが明るい雰囲気をかもし出している。

ここで部活が発展するようにと絵馬を奉納した。

建仁寺：木々とのコントラストがよく、写真が撮りやすい寺であった。

清水寺：日本でもかなり有名な寺であろう。私もここを訪れたのはこの旅行で5回目だ。そして、何度見てもあのアングルで写真を撮り、そしてそれを支える骨組みに感動してしまうのである。

智積院：展示されている長谷川等伯、久蔵親子の絵は、力強さを感じさせる。そして裏にある庭園がまた落ち着いていて、そして美しいのである。

蓮華王院：三十三間堂。千一体の仏像を見るたびに、自分の顔に似ているものを探そうとするのは私だけだろうか？

方広寺：大阪冬の陣のきっかけである鐘が未だに残っている点を見ると、所詮あの戦の理由はこじつけであったと思うのである。

平等院：10円玉でおなじみだが、その中にある定朝作の仏像がまたよい。カメラのアングルを探すのにも事欠かない。

二条城：夜のライトアップを見に行ったが、いい庭園ですね。中はまた今度。

東大寺：大きい。見るべきものは多くある。とても中身の濃い寺である。一日かけても消化しきれぬか分からないほどのものが、ここにはあった。

北山十八間戸：現在は地元の人が管理していた。特別に中を見せてもらったが、色々と考えさせられるのである。差別ほど愚かなものは無い。

春日大社：縁結びといえはここですが、男四人で突撃した分悲しい。

興福寺：かつては比叡山延暦寺と並び称されるほど力が強い寺だけあって、五重塔の他にも様々な宝物があった。他の寺から奪ったものまでである。

元興寺：蘇我氏の氏寺だったが、大化の改新以降衰退。しかも関わった中臣鎌足が後に藤原氏となり、一時は廃寺寸前までいったと丁寧なガイドの人に教えていただいた。創建当時の瓦が使われ、資料庫には国分寺に立っていた塔の「見本」となっていたという千年以上前の模型もあった。あくまで「がんごうじ」である。

西大寺：あまり多くを見にいけなかったが、旅行の中で最もいい写真が撮れた。

薬師寺：この当時有名な日光・月光菩薩像は東京の国立博物館に出張中（後に皆で見に行った）であったが、有名な東塔など、多くの見所があった。今度は菩薩像がいる姿を見たいものである。

法隆寺：日本で最も有名な寺だろう。やはり建物は凄いいし、そして宝物もまた多

くある。何を挙げていいのか分からないくらいである。今回は玉虫厨子を完成当時の状態で作成した「平成の玉虫厨子」を見られた。元となった実物は千年以上の時を経てくすんでしまっているが、完成当時はやはり豪華絢爛だったのである。

中宮寺：法隆寺の隣にあるとても小さなお寺だが、法隆寺と同じくらいの歴史がある。有名な半跏思惟像を見たが、もう千年以上経っているのにも関わらず複製品かと思えるくらいの光沢があった。

長谷寺：山奥、そして長い階段。とにかくいいお寺である。ただ、電車の時間を気にしなくてはいけないのが残念。参道の草もちもうまい。

室生寺：長谷寺以上の山奥。そして駅から大変離れており、親切なタクシーの運転手さんにその事実を教えていただけなかったら、たどりつけなかった事だろう。寺自体は大変いい雰囲気。だが、ここも帰りのバスの時間に悩まされた。

竹林院：小さいけれど、吉野の山から見る風景はかなり良い。

金峯山寺：目の前で護摩を焚いており、見ている恐ろしいほどの迫力を覚える。

我々が行ったときは南北朝時代に活躍した後醍醐天皇の皇子、護良親王の展示を行っており、また語り部もいた。ちなみに瓦を奉納。

石清水八幡宮：行きはケーブルカーで、帰りは歩いて帰ってきたが、いい風景です。ついでにお守りも買って帰ってきました。

～鎌倉～

杉本寺：他の寺に行く途中で寄ったのですが、知られていない割に、十一面観音と言う多くの観音像や、薄暗く落ち着いた雰囲気の内など、鎌倉で回った中では最も良い寺でなかったでしょうか？

紙面スペースの限界が来てしまいました。本当は山ほど書きたかったことがあるのですが、残念です・・・。